

◎第5回理事会(38.10.25)出席者:山本会長,岡本副会長,羽田専務理事,佐々木,嶋,三野,渡辺,岡部(委任)の各理事。

議事録署名理事 羽田専務理事,三野理事を決定。

A. 協議事項:1)第2回原子力総合シンポジウムの共催について専務理事より詳細説明があり他の学協会と共催することに決定。2)日本地震工学振興会設立について。3)欧米工学協会(E.A.U.S.E.C.)に日本工学会が加入することについて専務理事より説明があり同意。4)50周年記念式における表彰の範囲について羽田専務理事より説明。5)委員委嘱について

① 論文集編集委員の交代

第1部会

東北支部 倉西茂委員任期満了のため後任 佐武 正雄(東北大学)

佐武正雄委員東北大学へ転勤のため後任 伯野 元彦(東大生産技研)

② 大学土木教育委員会幹事追加

横山義雄(KK大林組本店土木部技術部)

⑤ 50周年記念事業総務委員会委員追加

扇田 彦一(東京都水道局給水部)

八島 忠(首都高速道路公団)

水越 達雄(東京電力KK建設部)

④ 海外連絡委員会委員交代

新 栗栖 義明(運輸省港湾局)

旧 宮崎 茂一(運輸省第4港湾建設局)

③ 大正以降土木史編集委員会委員長

新 青木 楠男(早稲田大学)

前 鈴木 雅次(日本大学)

6) その他: a) 50周年記念事業委員会の経過について羽田専務理事より経過を説明, b) 東北支部の来年実施の第19回年次学術講演会実施要領について, c) 昭和38年度朝日賞について。7) 会員入退会報告。8) 会計報告。9) 刊行物申込状況。10) その他

◎各種委員会

(1) 50周年記念事業出版委員会臨時幹事会(38.9.23)出席者:佐藤委員長,奥村副委員長,片山,竹原両幹事,羽田専務理事。議事:1) 記念出版予算と出版物の確認。2) 50周年全体から考えての出版事業のウェイトが高すぎるようなので総務委員会に予算を提出するとき,十分説明をする。3) 論文抄録集の取扱いは,廃刊の線で理事会の意向をきき,50周年記念事業からははずしたい。

4) その他として募集方法を協議。

(2) 第4回会誌編集委員会(38.9.27)出席者:八十島委員長,ほか委員14名。議事:1) オリンピック特集号報告。2) 岩盤力学講座報告。3) モニター報告。4) 48巻11号(小委員会)報告。5) 新規原稿依頼試案作成。6) 48巻12号計画。

(3) 海岸工学論文編集委員会(38.10.1)出席者:委員5名。議事:1) 第10回海岸工学講演会講演集の校閲事務。2) Coastal Engineering in Japan Vol. 6の編集方法。3) 10月22,23日の講演会の運営,特に討議のあり方について。4) 今後の委員会のあり方について。

(4) 文献調査委員会(38.10.4)出席者:千秋委員長,ほか委員15名,幹事1名。議事:1) 48巻12号登載抄録について。2) 海外文献にもとづく資料,解説,展望記事の作成。3) 前回委員会で決定した展望記事作成に関する進捗状況。4) 抄録原稿料算定式について。5) 50周年記念会誌,論文集総索引について。

(5) 50周年記念事業総務委員会(38.10.4)出席者:永田委員長,滝山,種谷,西松の各副委員長,ほか委員9名,羽田専務理事。議事:1) 各委員会(図書館建設委員会,行事委員会,記念出版委員会)の経過報告。2) 募金の方法について。3) 表彰者の範囲。4) 委員の追加委嘱,小委員会委員の指名。

(6) 第4回会誌編集小委員会(38.10.7)出席者:八十島委員長,ほか委員7名。議事:1) 第48巻第11号の編集決定。2) モニター制について。3) 第48巻第12号についての計画,実施案。4) その他。

(7) 50周年記念事業記念出版委員会(38.10.11)出席者:佐藤委員長,ほか委員9名,羽田専務理事。議事:1) 50周年記念事業に関する経過報告(羽田専務理事)。2) 記念出版物につきそれぞれの種別の収支予算,内容,発行部数(贈呈等の取扱い方)ならびに進め方の検討。

(8) 会誌編集委員会特集号主査調整会(38.10.15)出席者:担当委員2名。議事:1963年の回顧と展望の原稿調整。

(9) 会誌編集委員会特集号主査調整会(38.10.16)出席者:担当委員2名。議事:1963年の回顧と展望の原稿調整。

(10) 大学土木教育委員会第4回幹事会(38.10.16)出席者:米屋委員長,嶋幹事長,ほか委員4名,幹事4名。議

事:1) 土木技術者の業務内容の変遷に関する調査のうち建設会社の場合について。2) 土木技術者の各部門における活動状況を最終的に把握するためのサンプリング調査に関する検討。3) 1)でまとめた案を関係委員にはかり,サンプリング調査の最終案を決定した。

(11) 50周年記念事業総務小委員会(38.10.16)出席者:永田委員長,滝山,西松両副委員長,ほか委員7名,羽田専務理事,ほか学会側4名。議事:1) 記念事業費募金について。

(12) 土木用語辞典編集委員会(38.10.18)出席者:本間委員長,ほか委員9名,関係者3名。議事:1) 委員長経過報告。2) 9月10日の委員会決定事項の報告。3) 委員交代の件。4) 用語の集録語数の確認。5) ドイツ語,フランス語担当者について。

(13) 50周年記念事業総務委員会(38.10.18)出席者:永田委員長,滝山,西松両副委員長,羽田専務理事。議事:1) 50周年記念事業資金募集方法について。

◎その他

(1) 第10回橋梁構造工学研究発表会(38.10.9)

主催:日本学術会議橋梁構造工学研究連絡委員会,土木学会,日本建築学会

場所:日本建築学会会談室

参加者:延300人

講演題数:17題(うち土木9題)

(2) 第7回材料試験連合講演会(38.10.10~11)

場所:日本学術会議講堂,会議室

共催:日本学術会議材料試験研究連絡委員会,土木学会外17学協会

参加者:延200人

講演題数:69題(うち土木6題)

(3) 第23回関東地区学生諸君のための映画会(38.10.19)

参加者:30名

上映映画:(1)沈井式基礎工法 (2)真管式基礎工法 (3)川崎潜函基礎工事記録 (4)発破

(4) 第1回土木工学系学生のための映画・講演会(38.10.17)

場所:中央大学理工学部

内容:1. 映画 a) 水のエネルギー b) 奥只見地下発電所

2. 講演 最近の欧米の水工学 中央大学教授 林 泰造

3. 中央大学水理実験室見学

参加者:約300名

(5) 第8回水理講演会(38.10.21)

会場:大阪科学技術センター(大阪市西区靱公園内)

講演数:15題

参加者:150名

(6) 第10回海岸工学講演会(38.10.22~23)

会場:大阪科学技術センター(大阪市西区靱公園)

講演数:32題

参加者:延400名

見学会:10月24日神戸港見学

参加者40名

支部だより

◎北海道支部

(1) 土木技術映画会(38.9.12)

場所:北大構内クラーク会館

支部板倉商議員による開催趣意および挨拶について映画を上映した。開催目的は、土木職アピールのため北大学生を対照としたが入場700名を数え近來にならぬ盛況かつ好評を得られ成功であった。つづいて北海学園大学および室蘭工業大学で開催したが同様盛況であった。

(2) 第4回幹事会(38.9.16,札幌十字街ふじや)

出席者:林幹事長,ほか幹事6名。

議事:1)評議員の選挙について。

2)事務局開設にともなう予算について。3)技術資料編集委員会について。4)秋季見学会について。

(3) 第2回商議員会(38.9.17,日の出ビル6階)

出席者:上戸支部長,林幹事長,ほか商議員7名。

議事:1)評議員の選挙について。

2)支部事務局開設にともなう予算確立について。3)支部技術資料の編集について。4)支部賞選考委員の推せんについて。5)名誉員候補の推せんについて。

(4) 第2回事務局開設委員会(38.9.27,札幌ホテル)

出席者:伊福部委員長,ほか委員4名。

議事:1)事務局開設年度別予算の確立について。2)本部交付金の率について。

(5) 秋季見学会(38.10.2~3)

見学コース:札幌市より1級国道12号線を経て旭川市に至り,それより1級国道39号線各工事見学層雲峡1泊。第

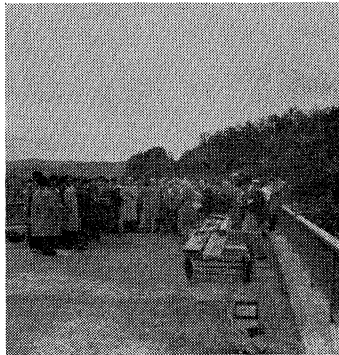
2日は,層雲峡奥の大函の奇勝を観光,往路コースを帰路につく。

見学工事:①深川橋ほか7橋梁,②道路改良舗装工事,③軟弱地盤地盤工法,④新江別火力発電所建設工事。

この両日秋晴れの好天に恵まれ,錦秋の層雲峡温泉に一泊し道央を貫く新舗装成った国道を快適なバスにて走行,上記各種工事を熱心に見学,参加会員一同の好評を採し多大の成果を得た。

参加者:63名

牛愛別橋にて



(6) 支部技術資料第20号編集委員の委嘱

委員長 板倉忠三(北大),委員 池田達哉(北電),町野高明(道),五十嵐日出夫(北大),土岐祥介(北大),近藤 徹郎(土試),加藤武仁(国鉄),富田一成(市水道局),以上8名

(7) 第5回幹事会(38.10.11,札幌市民会館)

出席者:林幹事長,ほか幹事5名。

議事:1)第2回講演会開催について。2)水理公式集講習会開催について。3)技術資料刊行について。

(8) 第1回技術資料編集委員会(38.10.11,札幌市民会館)

出席者:板倉委員長,ほか委員3名。

議事:1)原稿募集要領,件数等について。2)原稿依頼先担当について。3)原稿申込み,締切期日について。4)広告掲載について。

◎東北支部

(1) 役員会(38.9.3,東一ビル5階)

出席者:26名。

議題:1)支部長,支部役員補選について。2)幹事長会議の結果について。3)昭和39年度土木学会学術講演会について。4)技術講座開催について。5)その他。

◎中部支部

(1) 第2回講演会(38.9.20,石川県婦人会館大ホール)

1) 挨拶

石川県土木部長 本間 章

2) 講演

○国道8号線加賀地区の軟弱地盤工法について

建設省北陸地建石川県道工事事務所 所長 外内 孝  
工事課長 牛村 明

○日本城郭における石積とその石工について  
金沢大学教授 喜内 敏

3) 記録映画

○我谷ダム建設工事

石川県大聖川総合開発事務所製作  
参加者:130名 聴講無料

(2) 第6回幹事会(38.9.23,大津橋会館)

出席者:渡辺幹事長,ほか20名。

議事:1)役員の異動について

幹事

(旧) 高橋基次 (旧運輸省伊勢湾港)

(新) 松並仁茂 (現 同上)

(旧) 田中敏仁 (旧長野県土木部)

(新) 竹花友司 (現 同上)

2) 幹事長会議の報告。3) 支部規定案について。3) 土木学会誌特別号編集について。5) 2月講習会について。6) 第3回見学会について。7) 12月役員会について。8) 中部地区評議員候補者の推薦について。

◎関西支部

(1) 第4回見学会(阪神高速道路1号線,地下鉄1号線工事見学会)(38.9.26)

阪神高速道路公団1号線架橋工事(西横堀川),大阪市交通局高速鉄道1号線工事(新淀川鉄橋)を見学

参加者 83名,参加費 100円

(2) 技術講座1号(橋梁工学)(38.9.30~10.1,大阪市立大学)

講座名:曲線橋の理論と設計

講師:大阪市立大学助教授

小松 定夫

参加者:181名,参加費 200円

(3) ヤンセン 技師特別講演会(38.10.14,大阪科学技術センター)

題目:プレストレストコンクリートの長大橋の設計ならびに原子炉構造について

参加者:32名

(4) 第10回腐食防食討論会(38.10.16~18,宝塚ホテル)

共催:日本材料学会,日本化学会,土木学会 関西支部,ほか12

学協会

特別講演 2 題, 一般講演 56 題

参加者 230 名

(5) 第 5 回学生見学会(新大阪駅工事, 千里山ニュータウン造成工事見学会)(38.10.19)

新大阪駅工事, 千里山ニュータウン造成工事を見学

参加者: 59 名

(6) 関西地区常議員懇談会(38.10.7, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 常議員 6 名

(7) 第 2 回商議員会(38.10.20, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 商議員 10 名, 常議員 3 名,

支部長, 幹事長, 幹事 9 名

(8) 第 6 回幹事会(38.10.20, 土木学会関西支部事務局)

出席者: 石田支部長, 松尾幹事長, ほか幹事 10 名

### ◎中四支部

(1) 第 3 回講演会(38.10.17, 中国地建大会議室)

講師: フランス S.T.U.P 社技師, ヤンセン氏, 通訳 広島大学 網干寿夫

題目: P S コンクリート構造物の設計施工

参加者: 90 名

参加費: 無料

(2) 第 2 回特集号編集委員会(38.10.24, 中国電力 K K, 電気センター会議室)

出席者: 門田副委員長, ほか 10 名。

議題: 1) 編集資料の提出状況。2) 未提出資料のさい促について。3) 写真資料

について。4) 編集要領について協議。5) 編集担当者の意見交換。

### ◎西部支部

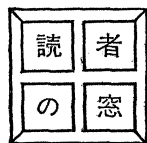
(1) 第 4 回幹事会(38.9.18)

出席者: 日向野幹事長, ほか 10 名。

議題: 1) 幹事長会議経過報告。2) 第 3 回新材料工法発表会について(12 月 6 日福岡市にて開催を決定)。3) 秋季見学会開催について(八代地区見学場所検討のことを決定)。

(2) 第 2 回役員会(38.9.25)

出席者: 上田支部長, ほか 14 名。議題: 1) 第 4 回幹事会経過報告。2) 北九州市建設局長を商議員に委嘱のこと。3) 特別員増加案について。4) 秋季見学会について。5) 研究発表会と支部総会を同時開催について。



質問 1; 河川の施工区域などに合流点までありますがこの合流点の解釈はどうなっておりますか。

(宇都宮市 戸井原文夫君質問)

解答; 合流点とはたとえば支川が本川に合流するような地点をいいます。具体的に合流点がどこであるかを論議する場合は本川と支川が異なった取扱いをされる場合(一例として本川は適用河川, 支川は準用河川)で廃川敷地処分, 建設大臣のかんとく処分などの諸規定の適用範囲に関係してくるわけです。また河川の計画上, 本川の計画高水位のおよぶ範囲は本川とし

での取扱う場合もあります。

このように本支川の合流点を定めることは重要な意味をもっているのであるが, 個々の実状を十分にかん案して定められています。

(石井委員)

質問 2; 河川管理面で河川工作物設置について技術基準を明記した書籍をお教え下さい。

(宇都宮市 戸井原文夫君質問)

解答; 最新土木施工法講座 7. 川村満雄, 佐藤 史共著の「河川施工法Ⅲ(河川構造物)」(山海堂刊定価 1200 円)の 493 ページを読まれるのがよろしいでしょう。

(石井委員)

## 第 10 回 海岸工学講演会講演集刊行

標記の図書は去る 10 月 22, 23 日大阪市において開かれた第 10 回海岸工学講演会に使用し, 好評をいただきました。本文には 32 編の講演が集録されており, 一般会員の方々のご講読をおすすめ致します。

体 裁: B 5 判 184 ページ 図表多数

定 価: 1200 円(〒 100 円) 会員特価: 1000 円(〒 100 円)



1963 年も政治, 経済, 社会, そして科学にスポーツに幾多の事件を残しながら過ぎ去ろうとしている。師走, 12 月号に今年の土木各界の動きを回顧し, 未来を展望する記事を掲載する。しかし基礎的教育, 研究に加えるにばう大な予算をもって行なわれる政府, 民間の公共事業の年間の動きを, 短期間の中に, 関係するおまな事件をあますところなく集録し, しかも土木各界の錯綜する記事の重複を避け, 限られたページ数の中にとりまとめることがいかに困難なことかを読者に訴えるとともに今後の協力をお願い

したい。

黒四大アーチ ダム竣工, 名神高速道路一部供用開始, 東京オリンピック開れん事業の整備進捗, ……そしておらが町の砂利道が舗装された。今年も歴史の一コマ, 一コマを大地に刻みつけながら, 土木技術者はただ黙々と狭隘な日本国土の利用価値を高め, 自然環境を変革し, あるいはその技術をもって海外に雄飛しようとする。その喜びと努力を読者がともにこの紙面より感知することができれば幸と思う。

[三池・記]

昭和38年度土木学会誌編集委員

|      |                             |                              |                             |                              |                       |                        |  |
|------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------|------------------------|--|
| 委員長  | 八十島 義之助                     |                              |                             |                              |                       | 委員兼幹事 松本成男             |  |
| 委員   | 石井文雄<br>齋藤俊彦<br>新谷洋二<br>森重雄 | 梅田卓郎<br>城野忠雄<br>原田信昭<br>森本茂夫 | 遠藤篤康<br>千秋信一<br>藤井喬昭<br>湯浅昭 | 大山忠昭<br>土屋昭夫<br>町田富士夫<br>渡辺隆 | 後藤績<br>奈良部俊雄<br>三池亮次  | 佐藤尚徳<br>南部繁春<br>森鱗     |  |
| 地方委員 | (北海道支部)<br>菅原照雄<br>河野文弘     | (東北支部)<br>三浦晃<br>阿部泰夫        | (中部支部)<br>酒井清太郎<br>増田重臣     | (関西支部)<br>赤尾親助<br>西村昭        | (中四支部)<br>長尾満<br>門田博知 | (西部支部)<br>小坪清真<br>長友文昭 |  |

会員入退会について(昭和38.10.1~10.31)

|        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 1. 入会  | 126名(正44 学63 特1.B 1 特1.C 10 特1.D 8) |
| 2. 復活会 | 4名(正)                               |
| 3. 退会  | 19名(正16 学2 特1.D 1)                  |
| 4. 死亡  | 2名(正)                               |
| 5. 転格  | 3名 学 →正2 特1.D→特1.B                  |

特別員の入退会

|     |             |             |              |                    |
|-----|-------------|-------------|--------------|--------------------|
| ○入会 | 昭和 38.10.22 | 特 1.B       | 鹿島建設KK名古屋支店  | 名古屋市中区新栄町 2-1      |
| "   | "           | 特 1.C       | KK 砂原組       | 広島市八丁堀 28          |
| "   | "           | "           | 世紀建設KK北海道営業所 | 札幌市南大通西13丁目砂利江ビル   |
| "   | "           | "           | 徳倉建設KK       | 名古屋市中区久屋町 1-3      |
| "   | "           | "           | 萩原建設工業KK     | 帯広市西1条 6-3         |
| "   | "           | "           | 函館ドックKK札幌支社  | 札幌市北2条西4丁目         |
| "   | "           | "           | 富士セメントKK     | 室蘭市仲町 64           |
| "   | "           | "           | 堀松建設工業KK     | 留萌市港町1丁目           |
| "   | "           | "           | KK 松村組札幌支店   | 札幌市南1条東 3-9        |
| "   | "           | "           | KK宮地鉄工所札幌営業所 | 札幌市北2条西3丁目越山ビル内    |
| "   | "           | "           | 矢作建設工業KK     | 名古屋市中区岩井通1の17      |
| "   | "           | 特 1.D       | 堀川土建工業KK     | 山形県上市市裏町字石堂 465    |
| "   | "           | "           | KK桜井鉄工所札幌工場  | 札幌市平岡 76           |
| "   | "           | "           | KK竹中工務店北海道支店 | 札幌市大通西6丁目 3-2      |
| "   | "           | "           | 北成建設KK       | 北海道石狩郡当別町字西小川通     |
| "   | "           | "           | 北土建設KK       | 札幌市北2条東 2-1        |
| "   | "           | "           | 北海道開発局土木試験所  | 札幌市平岸無番地           |
| "   | "           | "           | 升川建設KK       | 山形県西村山郡河北町谷地甲 1083 |
| "   | "           | "           | 山形建設KK       | 山形市香澄町2丁目11番39号    |
| ○転格 | 昭和 38.10.23 | 特 1.D→特 1.B | KK 中山組       | 滝川市字折町1番地          |
| ○退会 | 昭和 38.10. 5 | 特 1.D       | KK不二測量工業社    | 神奈川県厚木市厚木 474      |

会員現在数

|    |        |       |    |    |       |       |       |       |     |        |       |
|----|--------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-----|--------|-------|
| 名誉 | 正員     | 学生員   | 賛助 | 特級 | 特 1.A | 特 1.B | 特 1.C | 特 1.D | 特 2 | 計      | (増)   |
| 49 | 14 449 | 1 765 | 30 | 18 | 16    | 44    | 216   | 312   | 27  | 16 926 | (109) |

|     |       |             |                |
|-----|-------|-------------|----------------|
| 正会員 | 萩原正助君 | 昭和 38.10.26 | 49才            |
| "   | 倉科泰夫君 | 宮城県代ヶ崎工事事務所 | " 38.10.15 35才 |

昭和38年12月10日印刷

昭和38年12月15日発行

土木学会誌 第48巻 第12号

印刷者 大沼正吉

印所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 羽田巖

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円(送料20円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番

橋梁・鉄骨・鉄塔・鉄構物

# 松尾橋梁株式会社

本社 大阪市大正区鶴町3丁目110番地 電話 大阪 551-1243(代表)  
 支店 東京都江東区南砂町4丁目624番地 電話 東京 644-4131(代表)  
 出張所 札幌市北二条西2丁目仲通り26番地 電話 札幌 2-0831  
 工場 大阪 堺 東京 千葉

## 無騒音・無振動 基礎工事に用 T&K アースドリル

●特 徴●  
 掘削中に振動がなく特に軟弱地層に適します  
 地層を常時知り掘止が安全であります  
 設備が簡単で機動力があります  
 機械損料が低廉で経済性に富んでおります



### 株式会社 加藤製作所

本社 東京都品川区大井鮫洲町233 電話 491-5101(代表)  
 営業所 東京都千代田区神田多町2-2千代田ビル 電話270-6516(代表)  
 支店 大阪・福岡・名古屋

カタログ・資料呈上